


【件名】	新河岸川防潮堤耐震補強工事	【事務所名】	第六建設事務所	
【工事場所】	東京都北区志茂四丁目地内から同区志茂五丁目地内まで	【受注者名】	新日本工業株式会社	
【工期】	平成28年11月15日から平成29年10月4日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 小西 秀樹	

【工事概要】

- ・工事延長 : L=151.6 m
- ・主な工種 : 地盤改良工 757 m²
曲げ補強増厚工 48 m³
防潮堤補修・塗装工 1 式

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事は、狭隘部でかつ既存施設に近接した施工困難な工事であったが、既存施設へ変状や事故もなく工事を完了した。壁面補修、塗装等の追加工事等があったが、作業手順の最適化を図るとともに、職員を大幅に増員する等、会社を挙げた取り組みにより、工期延伸することなく、地元イベントの開催前に、道路を開放することができた。また、工事現場のイメージアップ、社会貢献活動等に積極的に取り組んでいた。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

区道に近接した場所での工事であった為、地盤改良時に地盤変形等を起こさないよう排泥の上がり具合に注意し、また常に変動測量を行い確認しながらの作業でした。

◇ 特に工夫した点

完了日のすぐ後に花火大会があり、変更追加工事も含め完了日を厳守する為掘削土量転用の収支を検討し、設計の陸側からの施工から川側の施工へ変更しました。その結果、川側の地盤改良施工中に陸側の掘削を行うなど、複数の工種を同時に行う事で完了日を厳守しました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

私も生まれて43年間この東京で育ちました。今回工事のような防潮堤の耐震補強工事に携わり、災害から都民の生活や財産を守る手助けが出来ました。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

公共工事は「税金を使い無駄な工事ばかりしている」と言われる事がありますが、決してそんな事はありません。建設業は人々の生活を守る立派な仕事だと思います。



イメージアップ



地盤改良施工状況（車線規制・河川内施工架台）